

報 告 事 項 1

令和3年度事業報告

令和3年度公益社団法人川崎市看護協会活動指針

＜理念＞

私たちは、看護の自律と連携を図り、生命の尊厳を維持し、その人が、その人らしく生きていくための支援を目指します。

＜方針＞

私たちは、市民の健康と安心できる生活を支援するために、地域でのネットワークを広げられる看護活動を推進します。

＜目標＞

- 1 看護職員の人材確保と定着を推進するために、働きやすい職場づくりを支援する。
- 2 社会の変化に対応できるように、看護の質の向上を図り、継続学習及び研究活動を支援する。
- 3 地域包括ケアにつながる在宅療養者の生活の質の向上をめざすために、看護の継続性を図り、地域や保健・医療・介護等の多職種との連携を一層推進する。
- 4 次世代看護職の育成のために、教育及び啓発活動を推進する。
- 5 災害時看護の強化、各関係機関との連携を推進する。
- 6 会員の増加に努め、組織の強化・発展を目指す。

＜重点事業＞

- 1 新型コロナ禍の中の地域包括ケア推進に向けた看護職連携、多職種連携を図り、看護を必要とする全ての住民に対する看護の質向上に努める。
 - (1) 病院と地域の看護職の連携や地域における多職種との連携の強化
研修及び交流活動等の充実
 - (2) ナーシングセンター事業・委員会活動の取組の強化
 - (3) 看護ジョブフォーラムや看護職の確保に繋がる他団体の取組への参加
- 2 災害時における看護支援の取組の充実を図る。
 - (1) 災害時看護支援ボランティアナースの養成
 - (2) 災害時看護支援体制の整備及び市民啓発の取組
 - (3) 各施設等の医療救護体制における看護の役割の明確化

令和3年度事業報告

I 公益目的事業

- 1 市民への保健・医療・福祉サービスの推進事業
- 2 看護の専門性の確立と生涯学習の支援事業
- 3 医療・看護安全対策に関する事業
- 4 地域医療・看護活動の推進と拡充に関する事業
- 5 看護職の就業・継続促進事業
- 6 川崎市ナースングセンター事業
- 7 協会立訪問看護ステーション等事業

II 収益事業等

- 1 会員に対する支援体制の充実に係る事業

III 法人運営に関する事業

- 1 看護職能団体としての組織強化に関する事業

I 公益目的事業

I-1 市民への保健・医療・福祉サービスの推進事業

事業内容	実施内容
市民に対する看護の普及活動	
1 看護週間行事	
(1) 看護フェスタ in かわさき 2021 ～伝えよう看護を！キャンペーン～	5月14日（金）11：00～12：00 開催 JR 武蔵小杉駅北口駅前広場にて啓発 グッズ配布（理事他13名協力） 配布数 約700名
(2) 市民に対する広報活動の促進	
①ホームページの充実・利用の促進	ホームページの改善
②中学・高等学校等への広報活動の強化	「看護職を目指す人のために」配布
③タウンニュース・かわさきFMの活用	看護協会の取組の周知・活動の宣伝
(3) 看護普及啓発事業 看護協会研修計画表	年間研修計画表4,000部 配布
2 市民のための健康相談及び健康増進の普及・啓発	
(1) 健康相談の充実	
①まちの保健室事業	電話・来所相談等 延数 1,085件
②健康相談・健康教育等	
3 子育て支援事業	
(1) 不妊・不育専門相談（毎月1回土曜日開催）	相談件数 33件 52名
(2) プレパパ・プレママ教室（年8回土曜日開催）	会場のみ（3回） 47組 WEBのみ（3回） 236組 ハイブリッド（2回） 166組 参加者数（合計） 481組 961名

4 救護活動事業 (1) 災害救護と市民参加行事の救護活動 ①災害時看護研修Ⅰ、Ⅱ ②川崎市総合防災訓練参加 ③市民参加行事への救護員の派遣 ④各区防災会議・医療・救護ネットワーク会議 ⑤備えるフェスタ 2022 (2) 災害時看護支援活動 ①ボランティアナース養成事業 ②川崎市看護協会災害対策連絡調整会議 5 新型コロナウイルス感染症療養者サポート業務	災害時看護Ⅰ研修：7月27日 28名 災害時看護Ⅱ研修：8月27日 26名 中止 年間 5行事 派遣看護職員 9名 各区合計 開催：2回 書面会議：9回 2月19日 ラゾーナ川崎 災害・救護委員会 養成講座：4月28日 28名（登録9名） 10月21日 17名（登録3名） （多摩休日夜間急患診療所） フォロー研修：12月8日 23名 開催4回 川崎市看護協会防災計画作成 健康観察等架電業務への看護人材の配置 8月～10月 45名
---	---

I-2 看護の専門性の確立と生涯学習の支援事業

事業内容	実施内容
キャリアアップ研修 1 現任教育支援 (1) 新人看護職員研修（3日間） (2) 新人看護職員フォロー研修 (3) 看護職員指導者研修（3日間） (4) 看護技術研修 ①精神科訪問看護基本療養費の算定要件研修（3日間） ②感染管理の実際 ③認知症看護に必要な専門的知識技術を有する看護師を養成する研修会（2日間） (5) 発達障害の理解研修 (6) 働き続けられる職場環境 (7) 看護師に対する緩和ケア教育（ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム）研修（2日間） (8) トピックス研修「令和3年度介護報酬改定」「令和4年度診療報酬改定」 2 看護研究の推進 (1) 看護研究の方法（基礎編・実践編） (2) 看護研究・活動報告会 3 看護管理者の学習支援 (1) 看護管理研修会	6月1日・2日・8日 15名 11月9日 13名 9月14日・22日・28日 13名 8月21日・28日・9月4日 18名 （2日目からハイブリッド開催） 10月6日 36名 11月4日・5日 32名 12月17日 16名 8月26日 中止 11月30日、12月7日 17名 6月30日 26名 令和4年3月25日（ハイブリッド開催） 63名 （川崎市立看護短期大学） 基礎編：7月8日 14名 実践編：9月16日 16名 令和4年2月25日（WEB開催） 32名 8月5日 19名

I - 3 医療・看護安全対策に関する事業

事業内容	実施内容
1 医療事故防止対策の推進 (1) 医療安全相談 (2) 医療安全対策研修	通年 11月16日 17名

I - 4 地域医療・看護活動の推進と拡充に関する事業

事業内容	実施内容
1 地域看護の質の向上 (1) 病院と地域の看護連携研修 (2) 多職種連携交流会 (3) 川崎市訪問看護ステーション協議会 (4) 訪問看護事業の推進 ①訪問看護師養成講習会（11日間コース）	11月24日（川崎市医師会館） 51名 9月7日（ハイブリッド開催） 38名 委員会 4回 研修会 1回 5月13日～7月29日 2コース合計 9月2日～11月25日 25名 延数 546名

I - 5 看護職の就業・継続促進事業

事業内容	実施内容
1 看護職員確保定着対策の推進 (1) 未就業看護師等復職支援研修（2日間コース） (2) 看護なんでも相談（通年） ①未就業看護師等の相談（通年） ②ハローワーク（川崎・川崎北）との連携による就業支援 ③看護職員の就業継続に関する相談事業・福祉分野看護師の確保協力 (3) 離職防止の取り組み (4) 看護ジョブフォーラム (5) 「川崎看護の底力 緊急アンケート」	7月6日・13日 20名 10月19日・26日 18名 再就職・求職・求人相談 157件 進路・進学相談 42件 看護職の研修に関する相談 493件 求人情報 閲覧者（個別相談） 9件 離職防止委員会による座談会（WEB開催） 令和4年2月14日 13名 11月19日 中止 8月6日～9月7日 回答者数 702人 潜在看護力の把握と就労意向の調査
2 次世代看護職員育成事業 (1) 高校生・社会人対象進路進学相談会（2回） (2) 看護に関する情報提供（通年）	7月10日 34名 7月31日 35名

I - 6 川崎市ナースングセンター事業

事業内容	実施内容
1 川崎市ナースングセンター管理運営 (1) 研修室等の運営管理 (2) 図書・教材の貸出 (3) ナースングセンター運営委員会	センター管理維持費（光熱水費等） 専門書（看護白書、国民衛生の動向） 月刊誌 4 誌（看護、介護保険、公衆衛生情報、コミュニティケア） BLS 用模擬人形・AED 訓練機貸出 8 件 8 月 31 日 委員 8 名

I - 7 協会立訪問看護ステーション等事業

事業内容	実施内容
1 協会立訪問看護ステーション事業の充実 (1) 事業内容 介護保険法による指定居宅サービス事業及び健康保険法による訪問看護事業 (2) 訪問看護ステーション ①かわさき訪問看護ステーション ②向丘訪問看護ステーション ③訪問看護ステーション井田 ④かわさき南部訪問看護ステーション (3) 居宅介護支援事業（川崎市看護協会ケアプランセンター） (4) 看護職員等の専門的資質向上研修 (5) 広報誌「ほほえみ」の発行 (6) 運営会議開催 (7) 経営会議開催 (8) 医療安全会議、事例検討会開催 (9) 利用者の満足度調査・職員満足度調査 (10) 看護職・看護学生・訪問看護師養成講習会などに対する教育支援、研修生受け入れ (11) 関係機関との連携	訪問件数 4,917 件 訪問件数 4,545 件 訪問件数 6,973 件 訪問件数 3,196 件 ケアプラン 472 件 年 5 回（5・6・7・10・2 月） 年 2 回 各 600 部 各ステーション年 1 回 委員各 10 名 月 1 回 各ステーション月 1 回 年 1 回

II 収益事業等

II - 1 会員に対する支援体制の充実に関する事業

事業内容	実施内容
1 会員への情報提供・意見収集体制の充実 (1) 広報誌「川崎市看護協会ニュース」発行 (2) 協会活動及び動向に関する情報提供	年 4 回 各 4,500 部 研修会、講演会など各種案内の配布 年 6 回
2 会員増加の推進 (1) 入会案内等のパンフレットの配布 (2) 未加入施設への広報活動	令和 3 年 4 月印刷 約 1,000 部配布 川崎市看護協会ニュース配布 会員委員会で検討

(3) 川崎市病院看護部長会への広報 (4) 看護学生を対象とした広報活動 (5) ホームページにより募集	川崎市看護協会ニュース配布 離職防止委員会企画の座談会の周知
3 新春交流会	中止
4 施設見学会	11月20日 中止
5 会員のための福利厚生の実施 (1) 各種表彰の推薦 ①神奈川県保健衛生表彰知事表彰 ②神奈川県公衆衛生協会会長表彰 ③日本家族計画協会会長表彰 ④母子愛育会母子保健功労者表彰 ⑤川崎市保健衛生功労者表彰 (2) 会員の慶弔への対応	中澤美奈子（川崎みどりの病院） 鈴木宣子（川崎市健康福祉局） 富井悦子（ひらま助産院） 渡辺富士子（関東労災病院） 金子佳世（日本医科大学武蔵小杉病院） 加田幸美（宮前平訪問看護ステーション） 増茂磨弓（訪問看護ステーション井田）
6 会員の身分に関する支援 (1) 看護職の地位向上の働きかけ	川崎市長へ要望書提出 8月4日 6名

Ⅲ 法人運営に関する事業

Ⅲ－1 看護職能団体としての組織強化に関する事業

事業内容	実施内容
1 職能団体としての組織・運営の強化 (1) 通常総会の開催 (2) 理事会・委員会の開催 ①理事会 ②常任・特別委員会（8委員会＋1特別委員会） (3) 倫理審査委員会 (4) 神奈川県看護協会、日本看護協会との連携 ①神奈川県看護協会総会等参加、 川崎支部との連携・協働 ②日本看護協会総会 ③全国職能別交流集会 ④日本看護サミット・訪問看護サミット ⑤日本看護協会・神奈川県看護協会 表敬訪問	6月24日 37名 委任状 3,160名 年6回（4回ハイブリッド） 理事 15名 監事 2名 年4回～8回開催 委員 51名 6月7日・11月8日 委員 6名 6月18日 支部長のみ出席 6月24日 県看護協会川崎支部大会 6月9日 幕張メッセ 一般参加なし 6月10日 幕張メッセ他 11月6日 WEB 配信 7月5日 会長就任挨拶・懇談 2名

(5) 会員増加の推進	会員委員会での検討・提案 令和3年度会員数																								
	<table><tr><td>職種</td><td>男性</td><td>女性</td><td>合計</td></tr><tr><td>保健師</td><td>6</td><td>140</td><td>146</td></tr><tr><td>助産師</td><td>0</td><td>97</td><td>97</td></tr><tr><td>看護師</td><td>249</td><td>3,196</td><td>3,445</td></tr><tr><td>准看護師</td><td>10</td><td>95</td><td>105</td></tr><tr><td>合計</td><td>265</td><td>3,528</td><td>3,793</td></tr></table>	職種	男性	女性	合計	保健師	6	140	146	助産師	0	97	97	看護師	249	3,196	3,445	准看護師	10	95	105	合計	265	3,528	3,793
職種	男性	女性	合計																						
保健師	6	140	146																						
助産師	0	97	97																						
看護師	249	3,196	3,445																						
准看護師	10	95	105																						
合計	265	3,528	3,793																						
(6) 公益社団法人としての事務局機能の強化・充実	弁護士、行政書士との顧問契約																								
2 政策への提言																									
(1) 川崎市への要望書提出、市議会各会派との政策懇談会	川崎市長へ「令和4年度川崎市予算編成に関する要望書」提出 8月4日 6名																								
①医療制度、看護教育制度、診療報酬及び介護保険等に関すること	市議会各派へ「同上」提出 8月																								
②看護職員の働く環境、看護提供体制の改善・充実に関すること																									
3 関係団体との連携促進																									
(1) 保健・医療・福祉の関係団体との連携																									
①行政	新型コロナウイルス感染症対策に関する医療関係5団体連携会議 令和4年3月16日																								
②医療5団体 川崎市医師会・川崎市歯科医師会 川崎市薬剤師会・川崎市病院協会																									
③看護関係団体 神奈川県看護協会・川崎市病院看護部長会 川崎市訪問看護ステーション協議会・川崎市 老人保健施設看護部長会・川崎市助産師会																									
④福祉関係 介護支援専門員連絡会・福祉施設等																									
(2) 介護保険に関する事業推進																									
①川崎市介護認定審査会委員（全50合議体）推薦	50名推薦（任期2年間） 任期：令和3年4月から令和5年3月まで																								
②川崎市介護保険運営協議会委員等																									
(3) 行政機関及び団体等の審議会・各種委員の就任	行政機関及び関係団体委員等への就任状況参照																								

令和3年度川崎市看護協会研修報告

研修会名	研修内容	開催日	受講者	備 考
医療安全対策研修	・安全な看護実践のためにリスク感性を養い事故防止に役立てる	11月16日	17 名	業務委員会
働き続けられる職場環境研修	・働き続けられる職場環境についての情報を提供する	8月26日 中止		労働環境改善推進委員会
多職種連携研修	・病院と在宅との多職種連携研修 ・自殺の現状と防止について	9月7日 ハイブリット	38 名	地域連携推進委員会
看護研究（基礎編） 看護研究（実践編） 2 日間	・日々の実践の中での課題・疑問を看護研究につなげる方法を学ぶ ・看護研究の方法・文献検索の方法・研究計画書の作成	7月8日	14 名	教育委員会
		9月16日	16 名	教育委員会
看護研究発表 ・活動報告会	・看護の各領域における研究成果を発表し、看護の質の向上を図る	令和4年 2月25日 WEB開催	32 名	教育委員会
看護師に対する緩和ケア教育（ELNEC-J コアカリキュラム）研修 2 日間	・ELNEC-J はエンド・オブ・ライフ・ケアや緩和ケアを提供する看護師に必須とされる能力習得の為に系統的な教育プログラム。人々へ質の高いエンド・オブ・ライケアを提供できるように、知識・技術を習得する	11月30日 12月 7日	17 名	教育委員会
発達障害の理解	・発達障害の理解、診断概念や二次障害への理解を深める	12月17日	16 名	事務局 推薦委員会
災害時看護Ⅰ研修会	・災害医療における基本事項を理解し、看護職としての役割を学ぶ ・急性期トリアージの実際を学ぶ	7月27日	28 名	事務局
災害時看護Ⅱ研修会	・川崎市の災害時医療救護体制について学ぶ ・避難所でのトリアージと看護を学ぶ	8月27日	26 名	事務局
トピックス研修	・最新の看護情報に関する研修「令和3年度介護報酬改定」	6月30日	26 名	事務局
トピックス研修	・最新の看護情報に関する研修「令和4年度診療報酬改定」	令和4年 3月25日 ハイブリット	63 名	事務局
災害時看護支援ボランティアナース養成講座Ⅰ・Ⅱ	・川崎市内で、地域に住む人が災害に見舞われた時、避難所等身近な場所で医療救護や相談支援に協力する等、災害時看護支援ができる人材を養成する	4月28日	28 名	事務局
		10月21日	17 名	
災害時看護支援ボランティアナースフォロー研修	・各区の避難所医療救護活動、川崎市総合防災訓練活動等に参加後に意見交換、災害時の机上訓練を行い川崎市の医療救護について情報交換する	12月8日	23 名	災害・救護特別委員会

令和3年度看護技術支援事業実施報告 (川崎市委託事業)

研 修 テ ー マ	開 催 日 時	受 講 者 数
精神科訪問看護基本療養費の算定要件研修 ・精神保健福祉の現状と動向 ・精神障害者の薬物療法と最新治療法 ・精神障害者の訪問看護の動向と制度活用 ・精神科訪問看護の基礎 ・精神障害者の看護の基本と家族及び介護者等への支援 ・利用者家族と地域を支えるための多職種連携 ・精神科訪問看護の実際と事例検討	8月21日(土) } 8月28日(土) } 3日間 9月4日(土) } (6回) 緊急事態宣言により、2日目からはZOOM受講とのハイブリッドで開催(8名)	受講者実数 18名 全過程修了者 18名 (延数 108名)
最近の感染症情報と感染管理について	10月6日(水) 半日 (1回)	受講者 36名
認知症看護に必要な専門的知識・技術を有する看護師を養成する研修 ・認知症高齢者の基本的なとらえ方 ・認知症に必要な倫理的課題と意思決定支援 ・認知症の原因疾患と病態・治療 ・行動・心理症状、せん妄の予防と対応法 ・入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術 ・コミュニケーション方法及び療養環境の調整方法 ・患者・家族の意思決定を支援するエンドオブライフ・ケア	11月4日(木) } 11月5日(金) } 2日間 (4回)	全課程修了者 32名 (延数 128名)
子どもを虐待から護る看護職の支援 ～看護職の強みを活かした支援～	11月12日(金) 半日 (1回)	受講者 19名
合 計	12回	実数 105名 (延数 291名)

令和3年度訪問看護師養成講習会報告

本年度から受講者の要望と社会的課題を踏まえ、2講座(精神科看護・小児看護)を加え11日間コースとし、新型コロナウイルス感染拡大状況に応じてZOOM受講も取り入れて2回開催した。

期 間 : 1 回目 令和3年5月 13日 (木) ～ 7月29日 (木) 11日間 (実習1日含む)

2 回目 令和3年9月 2日 (木) ～11月25日 (木) 11日間 (実習1日含む)

募 集 : 1 コース 30名

受講状況 (1回目、2回目総計)

	11 日間コース受講者数	公開講座受講者数
受講者数	25	90
全科目履修者	14	
科目履修者	11	
受講者延数	456	
合計 (受講者延数)	546	

教 科 目	単 元	単元内容	単位
訪問看護概論	保健医療福祉を巡る社会的動向と今後の展望	保健・医療・福祉を巡る社会的動向から訪問看護の使命を学ぶ	3
	訪問看護の機能と役割		
	在宅における医療安全		
対象論	高齢者の在宅療養を支える看護	対象の理解を深める	4
	訪問看護の対象となる在宅療養者の家族看護		
	精神障害者の看護		
	疾患や障害のある小児の看護		
訪問看護方法論	看護に求められるコミュニケーション	訪問看護に必要な基礎技術の確認と最新の知識・技術を習得する	11
	フィジカルアセスメント		
	在宅における感染管理		
	在宅における糖尿病患者のセルフケア		
	理学療法士から学ぶりハビリテーション		
	服薬管理		
	摂食・嚥下障害のケア		
	褥瘡・スキンケアの基礎知識		
	在宅における終末期ケア		
	認知症をもつ人の看護		
	在宅における急変時の対応と救急蘇生		
在宅ケアシステム論	在宅療養者を支える関係機関と社会資源	地域におけるケアシステムを学ぶ	1
ケアマネジメント論	住み慣れた地域で生活を支えるケアマネジメントの実際	マネジメントの過程を学ぶ	1
訪問看護実習	実習 1 日	訪問看護ステーションの機能と活動内容を学ぶ	2

(1 科目 1 単位：全 22 単位)

令和3年度川崎市ナーシングセンター事業報告

「川崎市ナーシングセンター」は、川崎市内の看護職員の熱い要望により、活動の拠点として平成5年に開設し、一貫して看護職充足対策、現任看護職員研修、市民への看護普及啓発及び地域看護活動促進等、社会の要請に対応するための研修や活動を行ってきた。

また、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の予防対策として、来所者の健康チェックや会場設備の消毒等の環境整備に留意すると共に、感染状況に応じてZOOMを活用して研修・会議等を行った。

I 川崎市ナーシングセンター運営委員会

事業運営は、年1回、行政・有識者・看護部長会代表等の委員による「川崎市ナーシングセンター運営委員会」を開催し、年間の活動報告及び年間計画を協議し活動を進めてきた。

開催日	活動内容
8月31日（火）	1 令和2年度事業実施報告 2 令和2年度決算報告 3 令和3年度事業実施計画（案）について 4 令和3年度収支予算（案）について 5 ナーシングセンターの運営について

II 川崎市ナーシングセンター事業及び研修

事業項目	実施内容	実 績
1 看護師充足対策事業 (1) 未就業看護師等復職支援研修	未就業看護師等復職支援研修 ＜2日間コース＞ 1日目①最近の医療・看護の動向 ②フィジカルアセスメント 2日目①感染症について ②「点滴、静脈・筋肉注射、採血」 「気管内吸引」講話と演習	1 コース 7月6日・15日 受講実数 20 名 延数 38 名 2 コース 10月19日・26日 受講実数 18 名 延数 35 名 (両コース共病院実習中止)
(2) 看護職離職防止・定着対策事業・看護なんでも相談	看護なんでも相談：通年実施 ・再就業相談・求職等の相談 ・進路・進学相談 ・看護職の研修に関する相談	相談実数 692 件延数 1,214 件 157 589 42 51 493 574
(3) 高校生等進路進学相談会	高校生等進路・進学相談会 看護専門学校・看護大学の紹介と個別相談	※本年度から2回実施 7月10日（土）参加数 34 名 7月31日（土）参加数 35 名
(4) 看護師を目指す人のための説明会	看護師を目指す人のための説明会 (対象：川崎市在住のひとり親の方)	6月12月（土）参加数 11 名
(5) 看護ジョブフォーラム	看護のお仕事相談会	新型コロナウイルス感染症感染状況に鑑み中止

事業項目	実施内容	実 績
2 市民への看護普及・啓発事業 まちの保健室相談事業	市民の健康相談・介護相談：通年実施 相談内容（延数） ・ 育児相談 3 件 ・ 妊産婦相談 929 件 ・ 疾病への対応 2 件 ・ こころの相談 3 件 ・ 関係機関等 35 件 ・ 不妊相談 69 件 ・ 訪問看護 23 件 ・ その他 21 件	電話・来所面談等 1,085 件
3 看護職員研修事業	(1) 新人看護職員研修（3.5 日間） ※新たにフォロー研修を追加 ファシリテーターとして神奈川県 看護協会川崎支部協力 (2) 新人看護職員指導者研修（WEB 開催） （3 日間） (3) 看護管理研修 (4) 看護協会研修計画表	6 月 1・2・8 日 受講者実数 15 名 11 月 9 日 受講者実数 13 名 （延数 58 名） 9 月 14・22・28 日 受講者実数 13 名 （延数 39 名） 8 月 5 日 受講者数 19 名 令和 4 年 3 月 4,500 部発行
4 地域看護活動促進事業 (1) 看護連携推進委員会活動 (2) 訪問看護ステーション支援 (3) 看護活動拠点	委員会報告 参照 ①神奈川県訪問看護ステーション協議会 川崎ブロックとの連携 ・ 役員会、総会に参加し情報の提供及び共有 ②新型コロナウイルス感染症抗原検査 キット配付 ③令和 2 年度作成の「川崎市内訪問看護 ステーションマップ」更新に着手 川崎市ナースングセンター研修室利用 状況 236 回	委員会報告 参照 健康福祉局からの依頼で抗原 キット 500 個を希望する 市内訪問看護ステーション に配付 Google アンケートを活用し て川崎ブロック加入ステー ション 70 か所・未加入ステー ション 16 か所へ依頼 利用者数 3,700 名

令和3年度川崎市看護協会立訪問看護ステーション等活動報告

当協会は、4か所の訪問看護ステーション（向丘・井田・かわさき南部・かわさき）と令和元年10月に開設した川崎市看護協会ケアプランセンターを運営している。各ステーションに勤務する介護支援専門員の資格を持つ看護師が兼務職員として一部のケアプランを作成している。業務実績及び共通の活動概要は以下の通りである。令和3年度は新型コロナウイルス感染症のまん延防止対策を強化しつつ、利用者や職員の濃厚接触時の適切な対応等に配慮して事業を実施した。

1 運営会議

地域連携や質の高い看護の提供を目ざし、年1回各事業所の運営会議を開催している。会議の構成は、行政機関及び市・区医師会、病院協会、社会福祉協議会等の関係機関、諸団体等である。

2 在宅ケア経営会議・居宅介護支援事業所会議

円滑な事業所運営等について検討するため、月1回経営会議を開催している。また、新人訪問看護師業務マニュアルの作成や業務の効率化に向けたICT活用の検討を行った。

3 医療安全会議及び事例検討会（各事業所 月1回）

インシデント報告や分析、事例検討を行い、課題の共有や質の高い看護の実現に努めている。

4 安全対策委員会（年4回）

令和3年度介護報酬改定に基づき、業務継続計画の策定を行った。

5 職員研修会の開催

例年、一部の研修は市内ステーションへの公開講座として実施していたが、新型コロナウイルス感染症まん延防止の観点から、未公開とした。また、一部の研修はZOOMを活用した。

研修テーマ	ねらい	内 容	開催日
看護倫理と法令遵守 （安全対策研修）	医療スタッフに必要な法令遵守の理解を深め、安全で安心した看護の提供を考える	看護倫理、法令遵守について 医療安全について	5月29日（土）
在宅での災害時看護	災害時に必要な援助ができるようにする	各事業所の災害体制を学び、 自分ができることを考える。 医療機器管理について	6月26日（土）
糖尿病とフットケア	糖尿病を持つ利用者の看護を学ぶ	糖尿病の看護について知識を深める。フットケアの実際を体験する。 褥瘡状態評価スケール	11月6日（土）
リラクゼーション	訪問看護に携わる職員のメンタルヘルスを考える	心身の健康を保つための、 メンタルヘルスケアを学ぶ	令和4年 3月19日（土）
事務職研修	事業所の円滑な運営のための事務を行う	看護協会立ステーションの事務の統一について 事務職マニュアルの作成	7月16日（金）

6 健康情報の広報紙 「ほほえみ」年2回 発刊

7 看護学生の実習受け入れ 計 230 名（延べ数）新型コロナウイルス感染症防止の観点から実習方法等を工夫しながら受け入れを行った

8 病院看護職等の実習受け入れ 計 15 名（延べ数）

向丘訪問看護ステーション

所長 小笠原 由香

平成10年に市民の熱心な要望により向丘診療所内に開設。同診療所の閉鎖とともに近隣へ移転し23年が経ちました。開設以来、宮前区、高津区（一部）、多摩区（一部）を訪問エリアとして活動しています。

疾病を抱える子供から高齢者まで、地域住民の方々が安心した生活ができるように地域に密着したステーションを目指しています。また、多職種との連携を密に図り、利用者に寄り添った看護を提供できるように常に心がけています。

項 目	内 容
1 職員体制	管理者（所長） 1 名 常勤看護師 4 名 （うち介護支援専門員兼務 1 名） 非常勤看護師 1 名 非常勤事務職員 1 名
2 事業内容	訪問看護事業 利用者実数 115 名 年間延べ訪問件数は 4,545 件 幅広い年齢の方々に対応し小児看護、癌末期及び医療依存度の高い利用者へも積極的に訪問し、希望に応じて営業日以外の訪問にも柔軟に対応しています。また、医療的ケア児の小学校訪問や病状に合わせて感染対策にも努めており、多職種との連携も密に行っています。 市民の方々からの相談を受け、生活全般に困ったときに地域包括支援センター等との連携も図っています。
3 研修	事業所研修をはじめ、近隣医療機関や関連団体のオンラインでの研修にも積極的に参加し、個々に研修目標を持って取り組んでいます。 毎月、事例検討会や安全対策会議、勉強会を行い、看護の質の向上に努めています。
4 実習生の受け入れ	川崎市立看護短期大学 10 名 延 56 名 川崎市看護協会訪問看護師養成講習会 3 名 【地域病院現職看護職の実習】 川崎市立井田病院 （コロナ感染症対策のため中止）
5 連携	・認知症疾患医療連携協議会委員 ・認知症訪問支援事業委員 ・宮前区地域包括支援センター運営協議会委員 ・病院と在宅ケアネットワークの会への参加 ・訪問看護師養成講習会講師
6 今後の課題と対応	1 研修の機会を積極的に設け、看護の質のさらなる向上を図る 2 働きやすい職場環境の整備に向け、業務を整理し効率的な運営を行う 3 安定した経営に向け、多職種との連携を維持し、利用者の確保を図る 4 感染及び災害対策への対応を整理し、安全・安心な看護サービスを提供する

訪問看護ステーション井田

所長 増茂 磨弓

中原区を中心に高津区、横浜市港北区の一部をエリアとして、地域に密着した活動を行っています。

終末期でも在宅での生活を希望され、在宅看取りの方も多くなっています。そのために医療、多職種連携を密にし、ご利用者様が安心できる環境を整え、寄り添う看護を心がけています。

項 目	内 容
1 職員体制	管理者（所長） 1 名 常勤看護師 4 名（うち介護支援専門員兼務 1 名） 非常勤看護師 5 名 常勤事務職員 1 名
2 事業内容	訪問看護事業 利用者実数 190 名 年間延べ訪問件数は 6,973 件 新規利用者 73 名 終了者数 88 名 24 時間体制で医療依存度の高い利用者にも対応し、在宅看取りも行っています。
3 研修	事業所研修をはじめ、個人がそれぞれスキルを高めるため年間の研修計画を立てて参加しています。 月に 1 回の勉強会や参加した研修の伝達講習などを行っています。
4 実習生の受け入れ	武蔵野大学看護学部 8 名 延 24 名 川崎市立看護短期大学 8 名 延 20 名 川崎市看護協会訪問看護師養成講習会 3 名 神奈川県看護協会訪問看護体験研修 0 名（中止） 【地域病院現職看護職の実習】 川崎市立井田病院 4 名 延 4 名
5 連携	・ 県・市の訪問看護ステーション協議会 ・ 未就業看護師等復職支援研修講師 ・ 川崎市立井田病院在宅医療部との週 1 回のカンファレンス参加 ・ 川崎市成人の日を祝うつどい（成人式）の救護
6 今後の課題と対応	1 利用者が地域で安心して療養生活ができるように、多職種連携を図る 2 職員が安心して働けるよう感染症対策を徹底する 3 安全な職場環境で働けるように医療安全対策を進める

かわさき南部訪問看護ステーション

所長 渡部 寛子

川崎区にステーションを構え、区内のほか、幸区や鶴見区の一部も訪問エリアとして活動しています。

多様な医療処置を在宅で継続することが増加しているため、近隣の医療機関や関連事業所との連携を密に行い、ご利用者様のニーズに応えられるよう、24時間体制の維持、看護の質の向上を心がけています。

項 目	内 容
1 職員体制	管理者（所長） 1 名 常勤看護師 2 名 非常勤看護師 2 名 非常勤事務職員 1 名
2 事業内容	訪問看護事業 利用者実数 77 名 年間延べ訪問件数は 3,196 件 医療依存度の高い方や独居の利用者が多く、状態変化に合わせて速やかに医療機関や各事業所と連携が取れるように心がけています。 管理困難な創傷やストーマケア等も皮膚・排泄ケア認定看護師が医療機関との密な連携を行い対応しています。 その他の事業 グループホームとの医療連携体制契約により、週 1 回の訪問で入居者の健康管理、施設職員への指導、連携医療機関への報告等を行いました。
3 研修	事業所研修への参加及び個々の課題に沿った研修に参加しています。また、オンラインでの研修参加も多くなっています。 毎月、事例検討・安全対策会議を開催し、質の高いケアと安全保持に努めています。
4 実習生の受け入れ	川崎市立看護短期大学 6 名 延 30 名 武蔵野大学看護学部 4 名 延 24 名 川崎市看護協会訪問看護師養成講習会 1 名 【地域病院看護職の実習】 川崎市立川崎病院 （新型コロナウイルス感染症対策にて中止）
5 連携	・県及び市内訪問看護ステーション協議会 ・病院や在宅支援診療所主催の研修会や連携会議に参加 ・川崎市立川崎病院モニター会議 ・川崎区危機管理地域協議会 ・川崎市立川崎病院認知症疾患医療センター地域連携会議
6 今後の課題と対応	1 安全で働きやすい職場環境の整備を進める 2 看護の質向上を図るため、ステーション及び個人の計画的な学習環境を構築する 3 事業所を取り巻く現状と課題を整理し今後の対応を検討する

かわさき訪問看護ステーション

所長 三浦 かつい

かわさき訪問看護ステーションは、中原区のほぼ中央に事務所があり中原区全域を訪問エリアとし活動しています。

主治医をはじめ多職種と連携し、難病・障害・精神・小児・ターミナル期の利用者に訪問看護の知識と技術を提供し、ご利用者様が安心して充実した生活が送れるように心がけています。

項 目	内 容
1 職員体制	管理者（所長）1 名 常勤看護師 3 名（うち介護支援専門員兼務 2 名） 非常勤看護師 3 名 常勤事務職員 1 名
2 事業内容	訪問看護事業 利用者実数 94 名 延べ訪問件数 4,917 件 在宅看取り 8 名 小児や神経障害等、医療依存度の高い利用者の毎日訪問や病態状況で営業日以外の訪問、また、川崎市教育委員会より依頼があり医療的ケア児の小学校訪問にも柔軟に対応しています。
3 研修	毎月事例検討会・安全対策会議を所内で開催し、各個人研修計画に沿ったオンライン研修・事業所研修に参加する事で看護の資質を高め、安全にケアが提供できるよう努力をしています。 その他、医療機関や他職種連携会議、大学実習報告のための連絡協議会等にもズーム参加をしています。
4 実習生の受け入れ	武蔵野大学看護学部 4 名 延 24 名 川崎市立看護短期大学 10 名 延 52 名 川崎市看護協会訪問看護師養成講習会 3 名 【地域病院現職看護職の実習】 川崎市立井田病院 1 名
5 連携	・ 県・市の訪問看護ステーション協議会 ・ 認知症疾患医療連携協議会 ・ 中原区在宅療養推進協議会 ・ 川崎市在宅チーム医療、地域リーダー研修の講師
6 今後の課題と対応	1 働きやすい職場環境作りと常勤職員の増員に取り組む 2 安定した経営が維持できるよう利用者の安定的確保を図る 3 感染対策の徹底をする 4 業務の効率化に向けて ICT 導入の検討を進める 5 専門職として多職種と連携をし、利用者の思いを共有し地域との絆を結ぶ役割を果たす

令和3年度訪問看護ステーション別訪問活動状況

令和3年4月～令和4年3月

		向丘訪問看護 ステーション 平成10年10月開設	訪問看護 ステーション 井田 平成10年10月開設	かわさき南部 訪問看護 ステーション 平成11年2月開設	かわさき訪問 看護ステーション 平成12年8月 県看護協会より移管	計
常勤換算看護職員数		5.2	7.4	3.7	5.4	21.7
利用者実数		115	190	77	94	476
延べ訪問件数		4,545	6,973	3,196	4,917	19,631
保険請求件数		4,233	6,946	3,185	4,766	19,130
介護給付（件）		2,435	3,687	1,560	1,335	9,017
予防給付（件）		117	616	159	72	964
医療保険（件）		1,686	2,643	1,466	3,359	9,154
保険外訪問件数		307	27	11	151	496
訪問看護内容・ 連絡調整 (複数)	病状の観察	4,545	6,941	3,185	4,914	19,585
	清潔のケア・指導	2,481	4,286	3,166	2,624	12,557
	衣生活のケア・指導	2,364	2,019	3,162	2,018	9,563
	食事や栄養のケア・指導	4,047	3,143	3,174	1,785	12,149
	排泄のケア・指導	2,863	3,435	3,165	1,591	11,054
	睡眠のケア・指導	3,295	556	3,178	1,026	8,055
	環境整備・調整	4,323	5,269	3,170	2,615	15,377
	リハビリテーション	2,893	1,878	516	1,857	7,144
	疾病や服薬の管理・指導	4,127	6,142	3,185	2,152	15,606
	医療処置の管理・指導	2,513	3,611	2,874	2,412	11,410
	精神的援助	4,465	6,850	3,084	3,683	18,082
	ターミナルケア	18	71	32	23	144
	介護相談	632	1,559	1,788	1,060	5,039
	家族支援	1,729	3,315	2,420	1,897	9,361
	主治医への報告・調整	520	506	239	230	1,495
	他機関との連絡調整	2,469	974	693	1,029	5,165
	利用者からの相談	187	118	183	389	877
	計	43,471	50,673	37,214	31,305	162,663
医療処置内容 (複数)	カテーテル管理	1,028	608	539	1,168	3,343
	医療機器の管理	772	561	582	687	2,602
	排泄処置	798	2,210	2,384	1,060	6,452
	皮膚処置	1,235	604	2,439	937	5,215
	吸入・吸引	320	381	310	466	1,477
	点滴・注射	422	805	484	357	2,068
	麻薬等の管理	22	302	83	8	415
	検査	311	257	147	233	948
	その他	0	4	0	2	6
	計	4,908	5,732	6,968	4,918	22,526

			向丘訪問看護 ステーション	訪問看護 ステーション 井田	かわさき南部 訪問看護 ステーション	かわさき 訪問看護 ステーション	計
利用者実数			115	190	77	94	476
年 齢 別	15 歳以下		5	1	1	10	17
	16 ～ 39 歳		2	8	2	7	19
	40 ～ 64 歳		16	17	14	28	75
	65 歳以上		92	164	60	49	365
保 険 別・介 護 別	介 護 保 険	要支援 1、 2	9	20	6	3	38
		要介護 1	24	20	15	2	61
		要介護 2	17	22	7	7	53
		要介護 3	9	12	4	4	29
		要介護 4	6	21	8	7	42
		要介護 5	2	18	11	7	38
		申請中	0	1	0	0	1
		計	67	114	51	30	262
	医療保険		47	76	26	63	212
	保険外他		1	0	0	1	2
	計		115	190	77	94	476
主 た る 病 名	悪性新生物		21	67	17	9	114
	感染症		0	0	0	0	0
	中毒・外傷など		0	1	0	1	2
	脳血管疾患		6	8	5	5	24
	循環器疾患		14	16	9	4	43
	呼吸器疾患		8	9	5	4	26
	消化器疾患		4	14	5	7	30
	筋・骨格系疾患		11	10	5	1	27
	内分泌疾患		17	15	5	2	39
	泌尿器・腎疾患		4	8	1	1	14
	皮膚疾患		3	2	3	6	14
	神経難病		6	7	7	7	27
	その他の難病		1	0	0	0	1
	精神疾患		14	12	14	37	77
	認知症		4	15	0	3	22
	心身障害		0	3	0	6	9
	その他		2	3	1	1	7
	計		115	190	77	94	476
	終 了 者 の 状 況	軽快・不変		14	2	3	3
入院		4	8	1	8	21	
入所		8	12	4	0	24	
死 亡		自宅	5	31	7	8	51
		病院	8	25	6	2	41
その他		6	10	2	6	24	
計		45	88	23	27	183	

川崎市看護協会ケアプランセンター

所長 大石 建

令和元年10月に3か所あった協会立居宅介護支援事業所を「川崎市看護協会ケアプランセンター」として統合し、専任の介護支援専門員が協会立訪問看護ステーションと連携を図りながら業務を行っています。事務所は、かわさき訪問看護ステーションと共有しており、中原区、高津区、宮前区を訪問エリアとしています。

新型コロナウイルス感染防止対策を実施しながら毎月のモニタリング訪問などを行い、医療機関の医師や看護師など多職種と連携し、利用者が住み慣れた自宅で安心して療養生活が送れるように心がけています。

項 目	内 容
1 職員体制	管理者（所長） 1 名 （主任介護支援専門員専従） 介護支援専門員 4 名 （訪問看護業務兼務）
2 事業内容	居宅介護支援事業 要介護認定者を対象とし、癌・ターミナルや難病・医療依存度の高い利用者に対し、訪問看護と連携を図り、速やかな対応を行うケアマネジメントを実施。本人及び家族の支援、他機関との連携を行っています。
3 研修	事業所研修の中で法令順守、接遇など介護支援専門員としての質の向上のほか、個々が目標に沿った形で年間研修計画を立て、外部研修にも参加しています。 毎月安全対策会議、年1～2回事例検討会を所内で開催し、安全で質の高いケアマネジメントが提供できるよう努めています。
4 連携	・川崎市介護支援専門員連絡会への参加 ・地域包括支援センター主催のケアマネジメント調整会議への参加 ・総合病院の地域連携室との連携 ・近隣クリニックとの連携
5 今後の課題と対応	安定した運営を維持する為の利用者確保に向けて、医療機関や訪問看護ステーション、地域包括支援センターなどと連携を強化していきます。

令和 3 年度居宅介護支援事業所活動状況

令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月

川崎市看護協会ケアプランセンター							
利用者実数		64	訪問利用者 看護数	協会立訪問看護ステーション		47	
延べ数		472		その他のステーション		8	
新規利用者		27		合 計		55	
年 齢 別	4 0 ～ 6 4 歳	5	地 域 別	中原区		33	
	6 5 ～ 7 4 歳	10		高津区		4	
	7 5 歳以上	49		宮前区		27	
	合 計	64		多摩区		0	
				合 計		64	
介 護 度 別	要支援 1		依 頼 経 路	本人・家族		10	
	要支援 2			医 療 機 関	医師		0
	要介護 1	17			看護師		30
	要介護 2	16			MSW		5
	要介護 3	8		行政機関		0	
	要介護 4	14		地域包括支援センター		19	
	要介護 5	9		その他		0	
	合 計	64		合 計		64	
主たる病名	悪性新生物	25	終了者の状況	軽快・不変		1	
	脳血管疾患	4		入院		6	
	循環器疾患	4		入所		1	
	呼吸器疾患	4		死亡（自宅）		7	
	消化器疾患	0		死亡（病院）		8	
	内分泌疾患	10		その他		4	
	筋・骨格系疾患	3		合 計		27	
	泌尿器・腎疾患	0					
	皮膚疾患	2					
	精神疾患	1					
	認知症	5					
	神経難病	6					
	その他の難病	0					
	その他	0					
	合 計	64					

令和3年度救護活動報告

日程	救護依頼の事業内容	救護員 依頼人数	所属	救護参加 人数
6/20（日）	幸区市民体力テスト			
7/11（日）	川崎市教職員採用候補者 選考試験（一次試験）	3名	個人会員・健康づくりセンター 川崎市看護協会	3名
7/23（祝）	川崎区市民体力テスト	1名	川崎市教育委員会	1名
8/ 1（日）	川崎市市民水泳大会	2名	個人会員	2名
8/ 1（日）	高津区市民体力テスト			
8/10（火）	川崎市教職員採用候補者 選考試験（二次試験）	1名	健康づくりセンター	1名
9/5（日）	多摩区市民体力テスト	1名	かわさき記念病院	中止
9/12（日）	麻生区市民体力テスト	1名	個人会員	中止
10/2（土）	第80回川崎市制記念 多摩川花火大会			
10月	転地療養事業			
11/5（金） ～11/7（日）	かわさき市民祭り			
11/14（日）	中原区市民体力テスト	1名	個人会員	中止
11/14（日）	宮前区市民体力テスト	1名	老人福祉センター	中止
R4/1/10（祝）	川崎市成人の日を祝うつどい	1名	訪問看護ステーション井田	1名
R4/3/13（日）	川崎市青少年フェスティバル	1名	かわさき訪問看護ステー ション	1名
合計		13名		9名

*斜線は今年度、事業中止により依頼なし

*中止理由はすべて新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為

令和3年度理事会報告

会長 堀田 彰恵

- I 開催回数 6回（内4回はリモート併用）
開催場所 川崎市ナースিংセンター及びリモート会場

II 開催状況

	日 程	出席者数		
		理 事	監 事	事務局
第1回	令和3年5月14日（金） （リモート出席併用）	14 (5)	2	4
第2回	令和3年6月24日（木）	14	2	2
第3回	令和3年7月2日（金）	14	2	2
第4回	令和3年10月8日（金） （リモート出席併用）	13 (4)	2	3
第5回	令和4年1月7日（金） （リモート出席併用）	15 (1)	2	3
第6回	令和4年3月4日（金） （リモート出席併用）	14 (5)	2	3

※（ ）内はリモート出席者数で再掲

III 主な内容

<第1回>

■審議事項

- 1 令和2年度収支決算報告（案）及び監査報告について
- 2 令和3年度川崎市看護協会常任委員会・特別委員会委員（案）について

■報告事項

- 1 委員会活動報告（各常任委員会及び特別委員会活動）
- 2 事業報告（協会立事業所、川崎ナースিংセンター事業、研修会・養成講座ほか）
- 3 ナースিংセンター委員会（訪問看護ステーション協議会）について
- 4 川崎市地域医療審議会調査部会、川崎市新型インフルエンザ等対策検討委員会
- 5 事務局連絡（協会立事業所の人事異動）
- 6 その他（行事日程表、令和4年度川崎市予算編成等に関する要望書提出

<第2回>

■審議事項

- 1 会長の選定について
- 2 副会長、常務理事の選定について
- 3 常任委員会等の担当理事について
- 4 倫理審査委員の選出について
- 5 令和4年度川崎市予算編成等に関する要望書（案）について

■報告事項

- 1 事務局連絡（川崎市看護協会防災計画の策定、協会立事業所及び事務局の人事異動）

<第3回>

■審議事項

- 1 令和4年度川崎市予算編成等に関わる要望書（案）について
（周産期の精神的ケアを訪問看護師養成講習会に追加すること等）
- 2 その他
川崎市看護師等修学資金貸与条例等の改正（案）及び川崎市看護大学奨学金貸与条例（案）について（当該条例案に係る協会としてパブコメ提出）

■報告事項

- 1 委員会活動報告（各常任委員会及び特別委員会活動）
- 2 事業報告（協会立事業所、川崎ナースングセンター事業、事務局担当研修、在宅療養推進協議会）
- 3 その他（新型インフルエンザ等対策委員会）

<第4回>

■審議事項

- 1 令和4年度の取組について
（事業計画・重点事業「休日（夜間）急患診療所の看護業務の受諾」、研修計画）
- 2 令和4年新春交流会について
- 3 看護フェスタ2022の開催方法について

■報告事項

- 1 委員会活動報告（各常任委員会及び特別委員会活動）
- 2 事業報告（協会立事業所、川崎ナースングセンター事業、事務局担当研修、在宅療養推進協議会）
- 3 新型コロナウイルス感染症第5波に対する当協会の対応について
- 4 令和4年度川崎市予算編成等に関わる要望行動について
- 5 各種会議報告（会長、副会長及び常務理事出席会議）
- 6 事務局連絡（協会立事業所の人事異動、寄付金の受領、弁護士とのコンサルティング契約、職員給与規程及び非常勤職員の賃金規程の改正）

<第5回>

■審議事項

- 1 令和4年度の取組について
（協会運営の現状と課題、活動指針・重点事業・事業計画、研修計画、市民向け普及啓発の取組）

■報告事項

- 1 委員会活動報告（各常任委員会及び特別委員会活動）
- 2 事業報告（協会立事業所、川崎ナーシングセンター事業、事務局担当研修、在宅療養推進協議会）
- 3 役員業務報告（会長、副会長及び常務理事出席会議）
- 4 事務局連絡（協会立事業所の人事異動、コンビニ払いの導入）
- 5 その他（ナーシングセンター研修室の音響設備の入替）

<第6回>

■審議事項

- 1 川崎市休日（夜間）急患診療所看護管理業務受託に係る進捗及び執行体制について
- 2 川崎市看護協会活動指針（案）及び令和4年度重点目標（案）について
- 3 公益社団法人川崎市看護協会定款の一部改正について
- 4 令和4年度川崎市看護協会事業計画（案）及び収支予算（案）等について
- 5 令和4年度川崎市看護協会通常総会の内容について
- 6 その他（諸規程の改正、今後の訪問看護分野への取組の方向性、ナノ医療イノベーションセンター「看民工学勉強会」への参画、ナーシングセンターの施設利用、事務局職員の選任）

■報告事項

- 1 委員会活動報告（各常任委員会及び特別委員会活動）
- 2 事業報告（協会立事業所、川崎ナーシングセンター事業、事務局担当研修、在宅療養推進協議会）
- 3 役員業務報告（会長、副会長及び常務理事出席会議）
- 4 事務局連絡（理事会日程、協会立事業所及び事務局の人事異動）

令和3年度常任委員会・特別委員会活動報告

推薦委員会

委員長 菊地 初実

活動目標

- 1 川崎市看護協会役員の選挙の過程を再確認し、推薦委員会要綱の見直しを行う
- 2 川崎市看護協会の活動を支援する

活動内容

- 1 川崎市看護協会企画研修の活動の支援及び実施

活動の実績

項 目	内 容	開催日	場 所	出席者数
定例会 5回	第1回 合同委員会 委員長・副委員長選出、令和3年度活動内容確認・年間計画検討	7/1	川崎市ナースングセンター	5名
	第2回「発達障害の理解」研修会についての検討、アンケート作成、質問内容の作成 委員会開催の追加の検討について	9/17	川崎市ナースングセンター	5名
	第3回「発達障害の理解」のアンケート内容と研修時の事例の検討	12/3	川崎市ナースングセンター	5名
	第4回「発達障害の理解」研修会の実施、運営協力	12/17	川崎市ナースングセンター	4名
	第5回「発達障害の理解」研修会の評価、アンケート集計・まとめ 今年度の活動まとめ	2/18	川崎市ナースングセンター	5名
研修会	「発達障害の理解」研修会 講師：横浜中部療育センター所長 高木 一江	12/17	川崎市ナースングセンター	16名
学会発表	なし			

教育委員会

委員長 田中 亜由美

活動目標

- 1 会員が看護研究の基礎を学び論文作成できるように支援する
- 2 看護研究発表会・活動報告会を企画・運営し、多くの施設からの発表を集め学びの場とする
- 3 研修会の企画運営を行なう

活動内容

- 1 看護研究の基礎編・実践編の研修の企画・運営
- 2 看護研究発表会・活動報告会開催の運営
- 3 ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム開催のための研修会企画・運営・評価

活動の実績

項目	内 容	開催日	場 所	参加人数
定例会 8回	1回目 看護研究基礎編についての打合せ 資料作成 ELNEC-J コアカリキュラム打合せ	6/22	川崎市ナーシングセンター	9名
	2回目 委員長・副委員長の選出 年間計画・担当者決定 委員会活動内容の検討 看護研究基礎編スケジュール打合せ 今後の委員会予定	7/2	川崎市ナーシングセンター	9名
	3回目 看護研究基礎編アンケート集計 看護研究応用編打合せ 看護研究発表会日程確認・要項修正	8/24	川崎市ナーシングセンター	8名
	4回目 ELNEC-J コアカリキュラム打合せ 看護研究実践編アンケート集計	9/29	川崎市ナーシングセンター	9名
	5回目 ELNEC-J コアカリキュラム打合せ 看護研究報告書作成	10/22	川崎市ナーシングセンター	11名
	6回目 ELNEC-J 報告書作成 看護研究発表会打合せ	12/16	川崎市ナーシングセンター	8名
	7回目 看護研究発表会について打ち合わせ (1) プログラムの作成 スケジュール決定・査読 (2) 当日の役割分担	1/14	川崎市ナーシングセンター	9名

項目	内 容	開催日	場 所	参加人数
	8 回目 看護研究活動報告会事業報告 今年度活動報告 次年度活動計画	3/10	川崎市ナーシングセンター	8 名
研修会	看護研究の方法 ―基礎編― ―実践編― 講師：川崎市立看護短期大学 教授 野村 明美 講師 岩瀬 和恵 講師 松田 真由美 助教 西坂 真理子 図書館司書 3 名 ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム 講師：藤原 佳美 熱方 智和子 沼里 貞子 塩津 未季 武見 綾子	7/8 9/16 11/30 12/7	川崎市立看護短期大学 川崎市立看護短期大学 川崎市ナーシングセンター 川崎市ナーシングセンター	14 名 16 名 委員 4 名 17 名 委員 4 名
発表会	令和 3 年度看護研究・活動報告会 発表演題 13 題 講評 川崎市看護短期大学 教授 野村 明美	2/25	川崎市ナーシングセンター (WEB 開催)	9 名
学会発表	なし			

出版委員会

委員長 川向 幸乃

活動目標

- 1 会員への協会活動の周知、市民への広報活動
- 2 看護に関する情報の収集・提供

活動内容

- 1 委員会開催（年4回）
- 2 川崎市看護協会ニュースの企画・編集
- 3 川崎市看護協会ニュースの発行（年4回）

活動の実績

項 目	内 容	開催日	場 所	出席者数
定例会 4 回	第 1 回 合同委員会 川崎市看護協会ニュース 101 号・102 号企画・編集 * 101 号発行（7/27）	7/2	川崎市ナースングセンター	6 名
	第 2 回 川崎市看護協会ニュース 102 号企画・編集 103 号テーマ決定 * 神奈川県看護協会主催 「広報誌作成のための研修」 WEB 受講（10/8） * 102 号発行（11/2）	10/4	川崎市ナースングセンター	6 名 1 名
	第 3 回 川崎市看護協会ニュース 103 号・104 号企画・編集 * 103 号発行（2/15）	1/17	川崎市ナースングセンター	6 名
	第 4 回 川崎市看護協会ニュース 104 号・105 号企画・編集 * 104 号発行（3/29）	3/7	川崎市ナースングセンター	5 名
研修会	なし			
学会発表	なし			

業務委員会

委員長 渡辺 富士子

活動目標

- 1 看護業務に活かすための研修会を企画・運営する
- 2 看護・地域連携に活かすための情報を発信する

活動内容

- 1 医療安全研修会の企画・運営を行う
- 2 在宅療養児に関する訪問看護の課題解決に向けた取り組みの検討
 - (1) 小児訪問看護師の育成としての研修会及び訪問看護実習
 - (2) 小児看護習得のための小児病棟実習
 - (3) 小児訪問看護のための制度の理解

活動の実績

項 目	内 容	開催日	場 所	出席者数
定例会 6 回	第 1 回 合同委員会 委員長、副委員長選出 年間活動計画・役割分担検討	7/2	川崎市ナースングセンター	5 名
	第 2 回 医療安全研修会の企画・検討 次年度研修会の企画・検討（医療的 ケア児の看護）、講師依頼	9/17	川崎市ナースングセンター	5 名
	第 3 回 医療安全研修会の準備、役割分担検 討、アンケート作成 次年度研修会の検討、講師決定 医療的ケア児の問題の現状把握	10/15	川崎市ナースングセンター	7 名
	第 4 回 医療安全研修会 次年度研修会までの準備・手順	11/16	川崎市ナースングセンター	7 名
	第 5 回 医療安全研修会アンケート集計・考 察・評価 次年度の研修会の企画・検討、タイ トル・テーマ・主旨の決定	12/10	川崎市ナースングセンター	7 名
	第 6 回 令和 3 年度委員会活動報告 令和 4 年度活動計画の検討	1/12	川崎市ナースングセンター	5 名
研修会	「医療安全への取り組み」 講師：ふれあい横浜ホスピタル 看護部長 山岡 成子	11/16	川崎市ナースングセンター	17 名 委員 5 名
学会発表	なし			

会員委員会

委員長 的場 千江子

活動目標

- 1 新規会員の増加を推進する
- 2 会員の交流を図る

活動内容

- 1 入会方法・入会案内の検討
- 2 交流会の企画と実施

活動の実績

項 目	内 容	開催日	場 所	出席者数
定例会 8 回	第 1 回 東洋羽毛工場見学の説明	5/17	川崎市ナーシングセンター	4 名
	* 令和 3 年度通常総会にて受付 会員定足数の発表	6/24	川崎市ナーシングセンター	3 名
	第 2 回 合同委員会 委員長・副委員長選出 活動内容確認・活動計画内容の確認・ 担当の分担・活動日決定	7/2	川崎市ナーシングセンター	4 名
	第 3 回 施設見学会の企画確認、会員増加に 向けての意見交換	8/2	川崎市ナーシングセンター	6 名
	第 4 回 新型コロナウイルス感染症感染状況 から、施設見学会中止の決定 会員増加に向けての意見交換	9/13	川崎市ナーシングセンター	6 名
	第 5 回 会員増加に向けての意見交換	11/1	川崎市ナーシングセンター	6 名
	第 6 回 会員増加に向けての意見交換 リーフレットの検討	12/20	川崎市ナーシングセンター	6 名
	第 7 回 リーフレットの検討、福利厚生を検 討(入会金廃止、ナーシングセンター 利用時間拡大の提案等)	2/21	川崎市ナーシングセンター	4 名
	第 8 回 福利厚生を検討、リーフレットの検 討 今年度の活動報告作成	3/14	川崎市ナーシングセンター	6 名
研修会	* 施設見学会 中止	(11/20)		
学会発表				

労働環境改善推進委員会

委員長 佐々木 由紀

活動目標

- 1 生き生きと働き続けられる職場環境についての情報を提供する

活動内容

- 1 職場環境の現状をふまえ、問題解決への糸口となる情報を提供する
- 2 働き方改革に向けて各施設の実践例等の研修会の企画・運営
- 3 研修会での内容を情報共有し、看護協会ニュースに掲載できるか検討する

活動の実績

項 目	内 容	開催日	場 所	出席者数
定例会 5回	第1回 委員長・副委員長の選出及び年間活動計画・研修会の内容検討	7/2	川崎市ナーシングセンター	7名
	第2回 研修会講師と打ち合わせ	6/17	川崎市ナーシングセンター	4名
	第3回 今回の研修会中止を受け今年度の活動内容を再検討	9/21	川崎市ナーシングセンター	6名
	第4回 次年度の活動・研修内容検討	11/29	川崎市ナーシングセンター	5名
	第5回 次年度の活動計画・ナノ医療イノベーションセンターのヒアリング	2/21	川崎市ナーシングセンター	7名
研修会	「あなたにもできる働き方改革」 講師：東京医療保健大学東が丘看護学部 大学院看護学研究科 教授 中島 美津子 *コロナ禍のため中止、次年度へ繰り越し	(8/26)		
学会発表	なし			

地域連携推進委員会

委員長 井上 陽子

活動目標

- 1 在宅医療の推進の為、多職種連携・在宅看護の質を高める

活動内容

- 1 多職種連携交流会の企画・開催
- 2 交流会アンケート結果から、今後の多職種連携における課題を明確にする

活動の実績

項 目	内 容	開催日	場 所	出席者数
定例会 5回	第1回 多職種連携交流会の役割分担確認	5/18	川崎市ナースングセンター	7名
	第2回 合同委員会 活動目標・活動内容確認 多職種連携交流会内容確認	7/2	川崎市ナースングセンター	7名
	第3回 多職種連携交流会当日の運営 確認・役割分担	8/30	川崎市ナースングセンター	7名
	第4回 多職種連携交流会	9/7	川崎市ナースングセンター	8名
	第5回 多職種連携交流会反省会 アンケート集計・分析・報告 次年度の研修テーマ決定	11/2	川崎市ナースングセンター	6名
	第6回 次年度の活動内容確認 多職種連携交流会内容確認	2/1	川崎市ナースングセンター	8名
研修会	多職種連携交流会 テーマ：自殺の現状と防止について *事例提供 泉谷啓子 講師 川崎市総合リハビリテーション 推進センター 所長 竹島 正 「自死予防と自死遺族支援」	9/7	川崎市ナースングセンター (ハイブリッド開催)	38名 来場4名 委員8名
学会発表	なし			

離職防止委員会

委員長 古山 美佐

活動目標

- 1 あらゆる世代（新卒からシニア世代）の看護師のキャリア継続とキャリア形成の支援策について検討する。
- 2 川崎市内の医療・介護施設、訪問看護ステーション等が連携して実施できる、離職防止に対する取り組みを検討する。

活動内容

- 1 離職に関する実態調査アンケートの結果を踏まえた研修の企画と運営
- 2 川崎市内の医療・介護施設、訪問看護ステーション等で「多様な働き方の支援」や「メンタルサポート」が実施できる取り組みの検討
- 3 施設間人事交流プレテスト

活動の実績

項 目	内 容	開催日	場 所	参加者数
定例会 7回	第1回 合同委員会 委員長、副委員長選出 活動内容と活動日の検討	7/2	川崎市ナースングセンター	6名
	第2回 2021年度委員会活動の具体的な活動計画の作成	8/4	川崎市ナースングセンター	5名
	第3回 企画内容の検討	9/6	ZOOM 会議	7名
	第4回 企画構成の変更、日時の決定、 座談会のプレを実施	11/15	川崎市ナースングセンター	6名
	第5回 座談会企画書とポスター作成 ＊座談会のPR行動	12/9	川崎市ナースングセンター	7名
	かわさき FM「声の年賀状」出演	1/7	かわさき FM	3名
	川崎市保健医療政策室 訪問	1/13	川崎市役所健康福祉局	2名
	第6回 座談会のシナリオ作り 座談会後のアンケート作成	1/17	川崎市ナースングセンター	6名
	第7回 座談会の評価と次年度の計画	3/7	川崎市ナースングセンター	6名
研修会他	看護職として働き続けるための座談会 「自身のキャリアビジョンを考えて みませんか ～様々な施設で働く 看護職の語りから～」	2/14	川崎市ナースングセンター WEB 開催	13名 委員他 8名
学会発表	なし			

災害・救護特別委員会

委員長 柿崎 祐子

活動目標

- 1 災害時看護支援ボランティアナース登録者数100名を達成する

活動内容

- 1 災害時看護支援ボランティアナースの活動内容を周知する
- 2 災害時看護支援ボランティアナース養成講座の企画・運営に協力する
- 3 災害時看護支援ボランティアナース養成講座の参加数を増やす働きかけを行う

活動の実績

項 目	内 容	開催日	場 所	出席者数
定例会 4回	第1回 合同委員会 委員長、副委員長の選出 令和3年度の活動内容検討 第1回養成講座の結果 第2回の開催について ・災害時看護支援ボランティアナース 100人登録を目指す	7/2	川崎市ナースングセンター	8名
	第2回 第2回養成講座について 看護協会ホームページ活動について 日本災害看護学会参加の報告	9/24	川崎市ナースングセンター	6名
	第3回 第2回養成講座の振り返り フォローアップ研修について	11/26	川崎市ナースングセンター (ZOOM 併用)	5名
	第4回 今年度活動振り返り評価 次年度目標立案	3/18	川崎市ナースングセンター (ZOOM 併用)	5名
研修会等	災害時看護支援ボランティアナース養成 講座 (2回)	4/28	川崎市ナースングセンター	28名
	フォローアップ研修 (トリアージ)	10/21	多摩休日夜間急患診療所	16名
	フォローアップ研修 (トリアージ)	8/27	川崎市ナースングセンター	27名
	フォローアップ研修 (机上訓練・交流会)	12/8	川崎市ナースングセンター	23名
	備えるフェスタ 2022	2/19	ラゾーナ川崎	
学会発表	川崎市看護協会看護研究・活動報告会にて 活動報告 令和4年度日本災害看護学会での発表に 向けて準備	2/25	川崎市ナースングセンター	2名
その他	川崎市看護協会主催看護フェスタ (災害対策啓発チラシ配布)	5/14	JR 武蔵小杉駅前	

令和3年度 川崎市ナーシングセンター委員会報告

看護連携推進委員会

委員長 森下 とも子

〔活動目標〕

病院と地域の看護職同士の連携を密にし、的確な情報に基づいて安全で安心したサービス提供ができるようにする。

開催回数	活 動 内 容
委員会 4 回 研修会 1 回	病院と地域の看護職の連携を図るための研修会の企画準備 訪問看護ステーション協議会と共催 テーマ「地域と病院の連携で必要とされる情報とは」 ～看護サマリーに求めるもの・求められるもの～ 目 標：看護サマリーの作成を通して、病院と地域のタイムリーな連携と適切な 情報共有について考え、共通認識を得る。 開 催 日：令和3年11月24日（火）13：30～16：00 開催場所：川崎市医師会館 3階ホール 開催内容：①事例紹介（委員会作成） 事例1「家族の協力が得られない、医療依存度の高いケース」（病院） 事例2「介護力が低く、誤嚥性肺炎を繰り返すケース」（訪問看護） ②グループワーク ③看護サマリー発表 参加者数：51名（病院・クリニック：20名 訪問看護ステーション：31名）

＜今後の課題＞ 市民が状況に応じて必要な医療と看護が適切に受けられるために、病院と地域の情報伝達ツールとしての看護サマリーの充実に向けた取り組み

訪問看護ステーション協議会

代表 佐々木 直美

市内の訪問看護ステーション事業所が増加し、神奈川県訪問看護ステーション協議会川崎ブロック（以下、「川崎ブロック」という）の活動が活発となる中、令和3年4月から5月にかけて、ナーシングセンター委員会（以下、「委員会」という）の位置づけについて川崎ブロックの役員会、当協会の理事会において検討された。その結果、委員会における取組は川崎ブロックの取組に包含されている実態であることから、6月以降は、川崎ブロックとの連携を強化し活動を支援することにより、訪問看護に関する取組を推進する方向とし、ナーシングセンターの委員会としての位置づけは解消することとなった。

令和3年度は、川崎ブロックと新たな関係構築を模索しながら、役員会において訪問看護を取り巻く状況と課題の共有を行い連携して次の取組を行った。

◎川崎ブロック役員会・定例会へのオブザーバー参加

◎研修会等の企画、情報共有

「地域と病院の連携で必要とされる情報とは」（看護連携推進委員会と共催）
～看護サマリーに求めるもの・求められるもの～

◎市内訪問看護ステーションへの抗原検査キット配付に協力

◎令和2年度作成「川崎市訪問看護ステーションマップ」更新の取組への協力